(別紙様式23の3)

リハビリテーション総合実施計画書

							ā.	十画評価	実施日:	年	月	日		
氏名: 男・女			生年月日	年	月	日(歳)	利き手	右 ·	右(矯正)	・左			
主治医				リハ担当日		1	看護			\$	爰和ケア			
Р	Г			ОТ			ST			5	SW等			
原発巣(発症日·診断確定日):					病期分類(ステ	ージ):	併存疾患:							
廃用症候群:					リハビリテーショ	ョン歴:			PS:	又はKPS:				
	入院の目的:				治療内容:				予定	2入院期間:				
入院														
八院の日														
目的														
と当	治療後に生じる可能性のある副作用			・合併症: 治療後に生			生じる可能性のある身体の障害: 退			院後の治療予定:				
治療														
内容														
身	体症状ととられ		□嘔気	□倦	怠感	□呼吸困難 □	不安·抑鬱	□その他						
	ている対策	_	いる対策)			
	骨転移検索の有無	<u> </u> □#:	年以内の	骨シンチ		単純レントゲン	□ст	MRI						
骨転									(直近	の検索E	1時:	年	月	日)
移	骨転移の診断	_	転移なし		骨転移あ)	
	病的骨折のリスク	□単:	純レントゲ	ンで溶骨	性変化	□ 骨シンチで昇	以常集積	□局所の	咚痛					
											具体的アプ	n 7		1
-	評価項目・内容(具体的な内容を記載) □意識障害(JCS、GCS)・せん妄:										具体的アノ	ローテ		
	□ 意識障害(303 □ 運動障害:	, uos) • (270女.											
	□ 感覚障害: □ 摂食・嚥下障害:													
ıÙ	The state of the s													
身	□ 立吉 &軒陪宝.													
機能	関節可動域制限:													
- 構														
造														
	ー □その他:													
		□自立		一部介助	b 🗆	全介助)								
	動基 立ち上が	i) (🗆	自立	\Box -	部介助	□全介助)								
	立位 (□自立		一部介即	b 🗆	全介助)								
	安静度の制限とそ がんの進行にとも ⁷	の理由、決	活動時の!	ノスク(手	術後の合	并症、放射線・化学	療法中・後の副	作用、						
活			- J max											
	ADL	自立	一部	介助	全介助	使用用具(杖	、装具)・介助[中容		_	<u></u>			
	(B. Iに準じる)													
	食事	10	5		0									
	移乗	15	10	5	0									
	整容 5			0 0										
動	トイレ動作 10 3 ※ E			5 0 0 0										
	入浴	5			0									
	平地歩行 15 10 階段 10			5 0										
	更衣 10 5 排便管理 10 5													
			5 0											
	## 10 5 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0													
1	日前 (0:-100点)													

評価項目・内容(具体的な内容を記載)	具体的なアプローチ
職業 □あり(仕事内容:)
□なし	
参 家庭内役割:	
加 (
その他:	
□抑うつ気分	
□興味・喜びの著しい減退	
食欲の障害	
□ 世戦の障害○ □ 焦燥又は抑止□ 引疲労感又は気力の減退	
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
□無価値観又は自責感	
□集中力低下又は決断困難	
□ 希死念慮	
その他:	
同居家族:	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
Prid Ann.	自宅改造:福祉機器 □要 □不要
家屋:	A ## (PAA 1) . 17-
	介護保険サービス □要 □不要
環 境 その他 :	
COIL.	その他:
	+1084
2週間後の目標:	本人の希望:
	家族の希望:
リハビリテーションの治療方針:	
退院時の目標と見込時期:	
退院後のリハビリテーション計画(種類・頻度・期間):	
退院後の社会参加の見込み:	
	本人・家族へ説明 年 月 日
	説明を受けた人: 本人・家族(